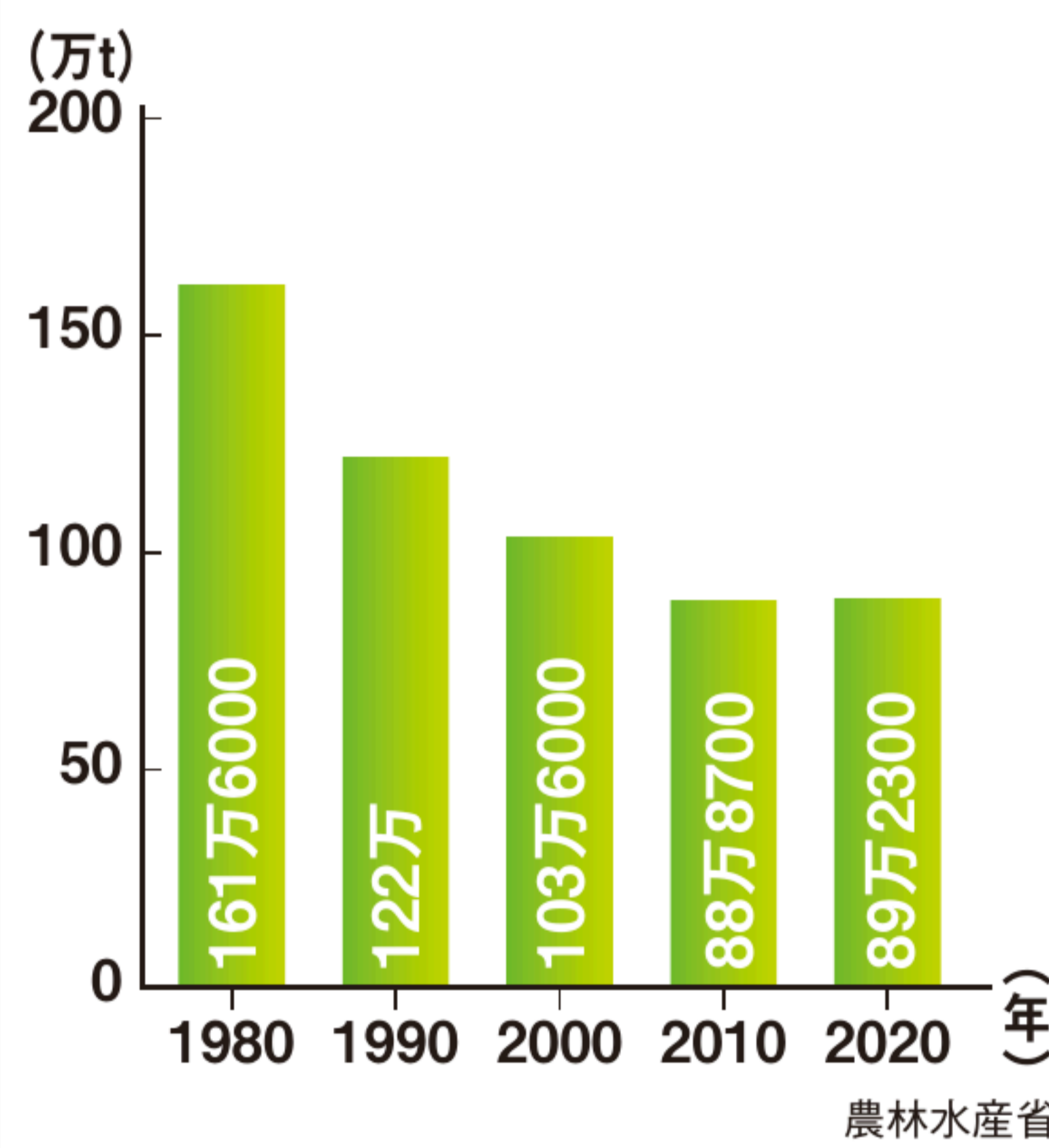




## はくさいの生産量の変化



はくさいは、鍋物や煮物、漬物など、冬を中心に食べられる野菜。しかし、2020年の生産量は、1980年の約半分になっている。日本人の食生活が洋風化して、とくに漬物原料としての利用がへったのが原因だ。また、はくさいの生産には、15℃～20℃のすずしい気候が適しているが、地球温暖化による気温上昇により、茎や葉がしおれるなどの育成障害もふえている。